

1. イベント交流活動事業

(1) 「2018 北海道スカイスポーツフェア in 滝川」の開催

- ・テーマ 「そらちに集まれ! たくさんの空」
- ・日時 平成 30 年 7 月 29 日 (日) 7:00～15:00
- ・場所 たきかわスカイパーク
- ・主催 (公社) 北海道スカイスポーツ協会
- ・共催 滝川市、(公社) 滝川スカイスポーツ振興協会
- ・後援 国土交通省北海道開発局、北海道、新十津川町、滝川商工会議所、
(一社)たきかわ観光協会、(一財)日本航空協会、(一財)北海道開発協会、
(一財)北海道河川財団、(一財)石狩川振興財団、(公社)北海道観光振興機構
- ・協賛 (株)ドーコン、(株)北海道銀行、伊藤組 100 年記念基金、山崎石材工業株式会社、(株)ホンダカーズ滝川、宝石時計メガネの川口、(株)フジファシリティー、ほくせんショップメイ
ト事業部、空知自動車学園、びっくりドンキー、(株)菱友、(株)おおるい、北門信用金庫、
(株)シーピーツアーズ、(株)田端本堂カンパニー、米倉商事(株)、(株)マツオ
- ・来場者数 5,000 人
- ・概要

今回のフェア開催は昭和 63 年のオープニングイベントから数えると、ちょうど 30 回目という節目の年であるとともに、開催地の滝川では、アジアで初めての電動模型航空機世界選手権が開催され、今大会はその歓迎イベントとしての意味合いと、「北海道 150 年」「滝川市市制施行 60 年」など記念すべき年に当たり、大変意義深い大会となりました。

7 月 10 日(火)には札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)の広場において、フェアと世界選手権のポスターを掲示。併せて、グライダーや電動模型航空機の実機展示や、スポーツカイトや竹とんぼの教室も開催するなど、スカイスポーツと両イベントの PR に力を入れたところであります。

悪天候の予報からフェア開催日直近まで大変気を揉みましたが、幸い快晴に恵まれ地元滝川市民はもとより、周辺市町村や札幌圏からも多くの皆様が来場し大会を開催することができました。

早朝からバルーン、ヘリコプターの体験搭乗には多くの列ができ、希望者全員の体験が叶わないほどの盛況でした。また、初登場となった、世界選手権参加日本代表選手による、350km を超える猛速での電動模型航空機のデモフライトでは、大人も子供もビックリ、まさに感嘆の一瞬でありました。子供教室と模擬競技には 3 種目とも定員を超える申し込みがあり、親子で熱心に取り組み、自作品での模擬競技会に目を輝かせチャレンジしておりました。スカイスポーツ業界も高齢化が進む中、これらの子供達が一人でも多く、将来スカイスポーツのプレイヤーとして加わってほしいものと願うところでございます。毎回恒例となったスカイダイビングにおけるセレモニーも、2 人のダイバーが、目標地点に見事降下し、市長と大会長にそれぞれ旗を返還、記念撮影後、両氏から歓迎の挨拶が行われました。そのほか、予定したデモフライトや抽選によるグライダー等の体験飛行も風の影響で一部取止めたほかは、予定通り無事終了することができました。

アトラクションでは、滝川躍進太鼓の勇壮な演奏が行われ、美唄市民有志によるチョークフェスティバルも、好評であった昨年の美唄に引き続き実施、最後に行われた地元産品などのお楽しみ抽選会も好評裡に行われ、観客を楽しませる賑わいを創出しました。

大会開催に際しご後援、ご協賛いただいた関係機関、団体、企業等の皆様、また、大会準備、運営に多大なご尽力とご協力をいただいた滝川市、滝川スカイスports振興協会はじめ、各Sports団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

・プログラム実施内容

○飛行展示（デモフライト）

グライダー（曲技飛行、ヴィンテージ飛行）、モーターグライダー（空中菓子まき）、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー（強風で一部中止）、模型飛行機（ラジコン）電動グライダー（世界選手権出場機）、スポーツカイト、スカイダイビング

○地上展示

グライダー、モーターグライダー、軽飛行機、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー、熱気球（籠）

○体験会

熱気球（バルーン）グライダー、軽飛行機、ヘリコプター（有料）模型飛行機（ラジコン）操縦、スポーツカイト操作

○スカイスports教室、模擬競技会

竹とんぼ、紙飛行機、凧づくり

○アトラクション

滝川躍進太鼓 凧揚げ大会（大凧、連凧のデモ揚げ）チョークフェスティバル、楽しみ抽選会

○グルメ、物販コーナー

地元商工会からの出店多数

（2）スカイスports競技会への支援

イ、「第17回 HOSPA 杯争奪スケールアクロ競技会」北海道模型航空連盟

- ・開催日 8月12日(日)
- ・場所 札幌エアメイツ RCクラブ専用飛行場
- ・参加人員 18名

開催当日は降雨のため一時中断したが、5クラスに分類された競技を各1ラウンドずつ実施した。

ロ、「第14回 HOSPA CAP in 島牧」北海道ハグ・パラグライディング連盟

- ・開催日 9月29日(土)～9月30日(日)
- ・場所 島牧村歌島高原
- ・参加人員 11名

競技会1日目は好天に恵まれたが、2日目は風の状況が悪く競技を取りやめた。

（3）スカイスports関係者交流会の開催

- ・開催日 12月4日(火)
- ・場所 札幌市 参加者 8団体11名

各スカイスports団体の活動状況やスカイスportsフェアに関する意見交換などを行なった。

2.啓発普及活動事業について

(1) 広報誌等の発行による啓発普及

イ、広報誌「あえる」第60号発行 1月15日付 発行部数 2,000部

会員、スカイスports団体、関係法人のほか、札幌観光案内所(JR 札幌駅構内)等幅広く配布。ホームページにも全頁掲載し、今後開催予定の各種講習会・体験会・SS教室や北海道スカイスportsフェア来場者にも配布する予定。

今回は、日本紙飛行機協会北海道支部長として活躍している佐藤英一さんに、日ごろの活動状況や紙飛行機競技を取り巻く環境と今後の課題について寄稿していただいた。

その他、道内の各クラブやスカイスports団体の活動状況など、一般の方にも分かり易い記事掲載により、スカイスportsの啓発に資するよう心掛けております。

ロ、スカイスportsイベントカレンダーの発行

道内各団体の主要イベントを収集し4月に発行。関係者他一般に配布、ホームページにも掲載。

(2) 情報収集提供

イ、ホームページの活用

当協会案内の更新(事業計画・決算情報等開示)、広報誌「あえる」、スカイスportsイベント情報、北海道におけるスカイスportsガイドブック、主催・共催事業のお知らせ・トピックス等の掲載。過去8年間に開催したフェアのDVD動画をホームページ上に掲載し、フェアの実施状況が閲覧できるようにしている。

ロ、後援共催等イベント支援事業

- ・「第30回記念札幌航空ページェント開催」 札幌丘珠飛行場 8月12日(日)
- ・「第45回北海道バルーンフェスティバル」 上士幌町 8月10日(金)～12日(日)
- ・「第11回日本マイクロライト日本選手権2018」 白老町 9月22日(土)～24日(月)

(3) 体験会の開催

イ、パラグライダー無料体験講習会 北海道ハング・パラグライディング連盟と共催

開催日 9月9日(日)

場所 ピップ北峰スキー場

参加人員 23名

当日は天候に恵まれ、平地での立ち上げと低い斜面からの滑空に挑戦し、スタッフのサポートで「ふわり体験」も行った。

ロ、みんなのスカイスports教室

スカイスportsフェアの中で竹とんぼ、紙飛行機、凧作り教室を開催した。

(4) 安全講習会等の開催・支援

イ、安全講習会の開催・支援

○マイクロライトプレーン

開催日 3月3日(日) 9:00～12:00

場所 札幌市 かでる2.7

主催 北海道ウルトラライト航空連盟主催 共催 北海道スカイスports協会

テーマ 第1講

- 1、最近の小型機事故を踏まえた再発防止策について(安全啓発動画ビデオ15分)
- 2、最近発生した超軽量動力機事故の解説

講師 北海道ウルトラライト航空連盟 会長 山本満則氏

テーマ第2講 1、航空法第79条とその手続について

2、超軽量動力機の安全運航について

講師 東京航空局 新千歳空港事務所 航空管制運航事務官 川口 南 氏

参加人員 35 名

○ハング・パラグライダー

主催 北海道ハング・パラグライディング連盟

3月24日に予定していたが連盟側の事情で翌月（来年度）に変更となった

ロ、指導者研修会への支援

○グライダー（北海道滑空協会主催）

開催日 10月28日（日）、11月4日（日）、11月10日（土）

場所 たきかわスカイパーク

内容（実技実習）異常姿勢からの回復操作の実施手順

参加人員 4団体5名

○ハングパラグライダー連盟については3年に2度の開催となり、今年度は開催無し。

ハ、安全対策検討会

開催日 12月4日（火）

場所 北海道銀行別館ビル4階会議室

参加者 出席 6団体6名・事務局3名

内容 各団体の安全対策の取り組み状況のほか、安全運航の徹底について話し合った。

3.その他の主な活動

開催会議

平成30年3月23日（金）平成29年度第2回理事会

平成30年4月17日（火）平成30年度第1回理事会

平成30年5月17日（木）平成30年度定時総会

平成31年3月27日（水）平成30年度第3回理事会